

カレッジ通信

智辯学園奈良カレッジ小学部

平成30年度 10月号

平成30年10月16日 発行



朝夕はめっきり涼しくなり、いよいよ本格的な秋の到来を感じる好季になりました。

10月8日に開催しました本校運動会にはたくさんの保護者の皆様にお集まりいただき、心からお礼を申し上げます。

児童達も日頃の練習の成果を遺憾なく発揮してよく頑張ったと思います。特に、6年生が中心になっ

て繰り広げた応援合戦はどの組もよく考えられて、しっかり練習を重ねた出来映えだったと思います。競技についても、6年生はもちろん5年生以下の児童達も、持てる力を精一杯出し切った素晴らしいパフォーマンスばかりだったと思います。

児童達は行事があるごとにしっかりと成長した姿を見せてくれます。何かをやり遂げたという自信が彼らを変化させるのではないのでしょうか。

児童達一人ひとりが達成感を味わい、自分に自信を持てるように、これまで以上に日頃のエデュケーションに励まねばと思わせてくれる運動会でした。

ところで、10月1日に、京都大学の本庶佑特別教授がノーベル医学生理学賞を受賞されました。本庶さんはインタビューに答えて、「土星の輪がなぜああいうふうに見えるのか知りたかった」と語り、研究者を目指すきっかけとなった小学生時代の原体験を明かされていました。小学生時代から「なぜ？」という疑問を追いつける少年だったようです。机上の学習だけでなくいろいろなことに興味を持ち、「なぜ？ どうなっているのだろうか？」という好奇心が学びのモチベーションになっているという好例です。

これからの児童達が生きる時代は答えのない問題もたくさん出てきます。そんな児童達に求められるのは受動的に知識をインプットすることではなく、主体的に知識を取り入れ、自らで思考を組み立てていくという力とそれをしっかりと他者にわかるように伝えていく力です。出口の見えない課題に向かって諦めることなく、一つ一つ疑問を解決し、新しい地平へとたどり着くための努力を惜しみなく続ける力こそが、これからの時代を生きていくのに必要だと考えています。

そういう力を児童が身につけられるように我々教員もしっかりと関わってまいります。

保護者の皆様もどうぞご協力くださるようお願いいたします。

今年の全国学力・学習状況調査の結果について

6年生が本年度4月に受験した全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。調査の内容は、国語A・国語B・算数A・算数B・理科と児童質問紙に分かれており、Aは主として知識、Bは主として活用の問題です。（今年は理科も加わりました。）

全国平均や各県の平均などはこれまでに報道されご存知のことと思いますが、児童の基礎学力を確認するのに良い機会と考え、毎年本校も参加しています。また、児童質問紙で児童各人の生活の様子がわかるのも本調査のメリットであると考えています。

以下が本校6年生の結果です。

【国語】

国語A（主として知識）

本校の平均正答率は90.0%（全国70.9%）で基本的な学力はきちんと身につけています。

国語B（主として活用）

本校の平均正答率は67.0%（全国54.8%）で知識を活用し、考える力も例年の6年生と同等の力をつけています。



国語で扱う教材（文章）の内容は非常に多岐にわたります。ですから、いろいろな分野に興味・関心を広げる姿勢が大切です。今回の調査で「新聞を読んでいますか」という質問に「ほぼ毎日読んでいる」と答えた本校児童は20%、「週に1～3回読んでいる」が29.2%と全体の約半分でした。「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか」の問いには「よく見る」が56.9%、「ときどき見る」が23.1%と多くの児童がテレビやインターネットを中心にニュースの情報を得ていることがわかりました。ニュースに対して意欲的に情報を得ようとしている姿勢は嬉しく思います。積極的に世界に目を向け、他者との交流を増やし、いろいろな話を聞く機会を増やし、自分の世界を広げて欲しいと思います。そうして自分の考えや意見をじっくりと醸成し他者にわかりやすく説明できる表現力の向上を目指して教科指導を続けていこうと考えています。

【算数】

算数A（主として知識）

本校の平均正答率は82.0%（全国63.7%）で基本的な学力は十分に身につけています。

算数B（主として活用）

本校の平均正答率は75.0%（全国51.7%）で、算数的思考力はしっかり養われています。

「算数の勉強は大切だ」96.9%（「どちらかといえば、当てはまる」を含む：以下も同様です）、「算数で学習したことは将来社会に出たときに役に立つ」92.3%と高いですが、「算数の勉強は好きだ」66.2%（全国64.1%）、「新しい問題に出合ったときそれを解いてみたい」69.2%（全国74.4%）、「解き方がわからないときはあきらめずいろいろな方法を考える」70.7%（全国78.5%）、「算数で学習したことを普段の生活で活用できないか考える」49.2%（全国64.4%）など、本校児童の算数に対する意欲や関心は、全国と比較してずいぶん低いことがわかりました。本校では例年このような傾向が見られます。

しかし、6年生は授業でかなりハイレベルの演習問題を教材として取り扱っているにもかかわらず「算数の授業の内容がよくわかる」87.6%（全国83.5%）と、高い数値になっています。今回のテストの成績から考えても、児童達の算数学習に対するモチベーションの低さの原因は、算数の成績に対する要求水準が高いあまりに各自が自分の算数学習の成果に満足していないことの表れではないかと考えています。

算数は単に答えが合っていればよいという教科ではなく、思考過程を楽しみながら学ぶ教科です。算数の基礎学力は十分に身につけているので、今後は、基礎学力のさらなる充実とそれを活用して児童各自が主体的に問題に取り組み、楽しみながら論理的思考力や応用力に磨きをかけられる授業を展開できるよう努めてまいります。

【理科】

本校の平均正答率は69.0%（全国60.4%）で基本的な学力は概ね身につけています。

「理科の勉強は大切だ」80.0%（全国85.4%）、「理科で学習したことは将来社会に出たときに役に立つ」70.8%（全国73.0%）、さらに、「理科の勉強は好きだ」は69.2%（全国83.9%）と随分低い結果となっています。「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたい」も35.4%（全国26.3%）と低いですがで全国よりは高い数字です。

一方「観察や実験が好きだ」は92.3%（全国89.8%）とかなり高い数字です。

今回のテストの結果を見ても、児童達に基礎学力が不足しているわけではありませんが、もっと観察や実験の結果を踏まえて科学的かつ論理的に考察する力を養う必要があると思っています。児童の理科に対する意識は決して低いわけではないので、学習に対するモチベーションをどのように高めていくかが本校の今後の課題です。

学習についての総括

今年の高校1年生が受ける大学入試は大きく変わると言われています。「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」になり、記述問題も出題されます。これまでは選択肢が4あるいは5択で、その中に必ず答えが一つありましたが、これからは『正しい選択肢をすべて選びなさい』『選択肢の中に答えがない場合は、0で解答しなさい』とこれまでと違って消去法で選べなくなります。本当にわかっているかが問われるのです。

これまで「知識」があれば乗りこえられた大学入試も、それらに加え、「思考力・判断力・表現力」が求められます。

児童達がいきいきと活動できる学校教育を目指してまいりますので、保護者の皆様もご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご家庭での指導もよろしくお願いします。

月	日	曜	行	事	月	日	曜	行	事
10月	16	火			11月	1	木	(家庭学習)	
	17	水				2	金	(家庭学習)	
	18	木	3年	出前授業(ぶどう農家)		3	土	(文化の日)	
	19	金		感謝祭		4	日		
	20	土		弁当給食説明会		5	月		
	21	日				6	火	6年実力テスト	
	22	月				7	水	保護者会(高学年)	
	23	火		遠足(低学年)		8	木	保護者会(低学年)	
	24	水				9	金	児童会集会(10:50～)	
	11月	25	木				10	土	(週休日)
26		金		遠足(高学年)	11	日			
27		土		漢字検定(希望者)	12	月			
28		日			13	火			
29		月			14	水			
30		火			15	木	修学旅行説明会(13:30～)		
30		水		交通安全教室・奈良県警察音楽隊演奏会	16	金	いじめアンケート		

義援金は、日本赤十字社を通じて被災

どうい経験になった
 と満足け。ザック・ア
 ソンロセンさんは 兎
 草ちと折り紙や鬼こ
 こたを染しみ、クラ
 フ活動にも参加でき
 良い思い出ができた
 と笑顔たつた。
 一行は2週間の日程
 で来日。6日までの4
 日間同校に授業などこ
 参加し、同日帰国する。
 両校は平成21年から交
 流を始めている。